京都産業会館ホール
映像・音響・照明マニュアル

【全室一括 ご利用者様用】

※バトンは耐荷重制限有り

利用者が行う事	
電動バトンの昇降操作、取付取外し	一次指定業者より、許諾を得た場合のみ操作出来ます 事故発生時は当ホールは責任を一切負いません
固定バトンへの取付取外し	一次指定業者より、許諾を得た場合のみ取付可能です 事故発生時は当ホールは責任を一切負いません
空調の操作	一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて頂き、 空調の操作（温度調整）をしてください

2021.01.14

目次

～映像編～

・映像機器の概要について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
・プロジェクター電源操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
・プロジェクター入力切替操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・P.5
・プロジェクター接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.6
・プロジェクター映像サイズの調整方法 ・・・・・・・・・・・・・・P.7
・各室間の映像中継について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.8
・各室 中継ラインの接続端子(HD-SDI / LAN)について ・・・・・・・・・P.9

～音響編～

・会場概要について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.12
・音響機器の概要について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.13
・会場 音量調整について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14
・音響機器接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.15
・受付用放送ワゴンの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.16
・入口、受付用放送ワゴン各CDプレーヤーについて ・・・・・P.18
・貸出備品一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.19

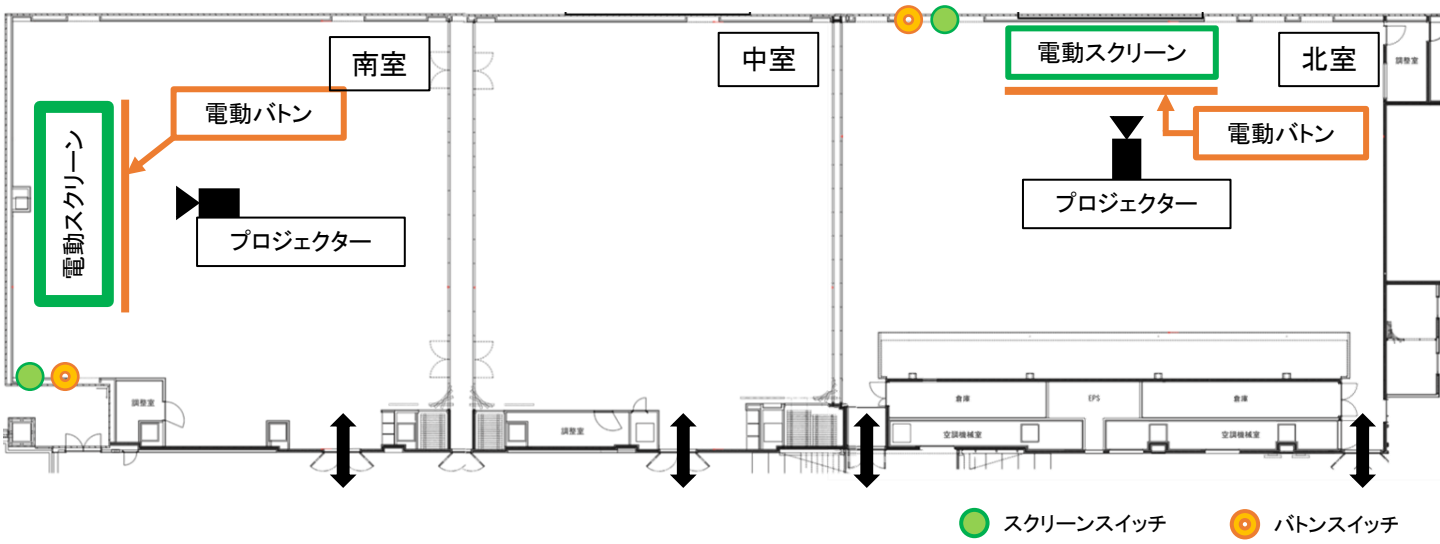
～照明編～

・会場照明のスイッチについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.22
・FLコントローラーの親機と子機について ・・・・・・・・・・・・・P.23
・会場一括利用時の照明シーン(連動照明切替) ・・・・・・・・・・・P.24
・調光ボリュームについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.26
・会場照明(DL・間接照明)について ・・・・・・・・・・・・・・・・P.27
・DL・間接照明ボタン対応図面 ・・・・・・・・・・ ・・・・・・・P.28

～映像編～

主催者様に操作して頂く事（マニュアル参照）		プロジェクターへの接続や、プロジェクター操作の一切は主催者様に操作頂きます
※利用者が映像業者を呼んでも構わない		当ホールには、映像技術者が常駐していませんので必要に 応じて専門業者等を主催者様にて手配ください
P3	スクリーンの昇降操作	一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて下さい、 損傷などの場合は、修理費用を申し受けます
P4	プロジェクター電源操作	一次指定業者より、リモコンを受取りプロジェクターの電源 ON/OFFを行ってください
P5	プロジェクター入力切替操作	リモコンでのみ切替操作が可能です
P6	プロジェクター接続操作	リモコンにて入力切替を行い映像ソースを選択してください
P7	プロジェクター映像サイズの調整	リモコンにて、サイズやピント、シフトなどの操作をしてください
P8	各室中継ラインの接続	各室を結んでいる映像ラインを接続してご使用いただく事が出来ます(HD-SDI)

■映像機器の概要について



・北室 プロジェクター：PT-RZ970JW (Panasonic) ＋ レンズ：ET-DLE150

・仕様：10,000lm　1チップDLPレーザー光源プロジェクター

以下の入力端子が使用可能です
・HDMI 入力　・DVI-D 入力(HDMI 2 入力)
・D-sub 1,2 入力　・SDI 入力　・LAN 入力

※ケーブル延長器を壁面コネクタパネル内、プロジェクター設置天井内に設置しています

・南室 プロジェクター：PT-RZ870JW (Panasonic) ＋ レンズ：ET-DLE150

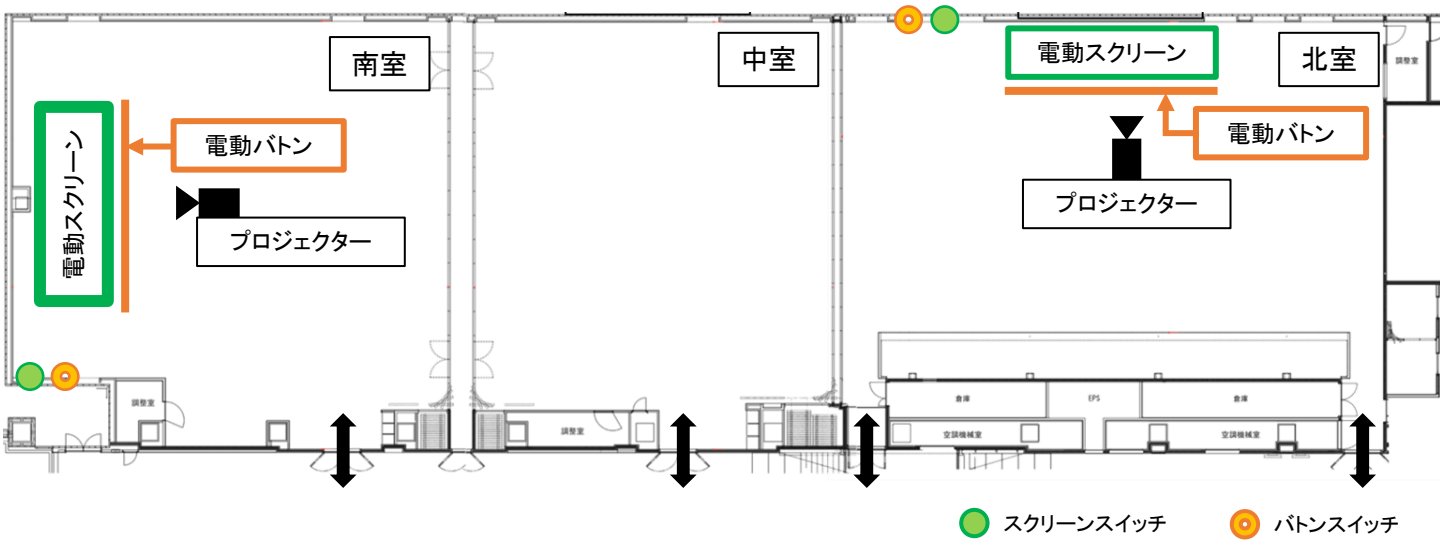
・仕様：8,500lm　1チップDLPレーザー光源プロジェクター

以下の入力端子が使用可能です
・HDMI 入力　・DVI-D 入力(HDMI 2 入力)
・D-sub 1,2 入力　・SDI 入力　・LAN 入力

※ケーブル延長器を壁面コネクタパネル内、プロジェクター設置天吊り金具内に設置しています

・備品映像ケーブル：　D-sub 10m × 2本　HDMI 10m × 2本
5m × 2本　5m × 2本

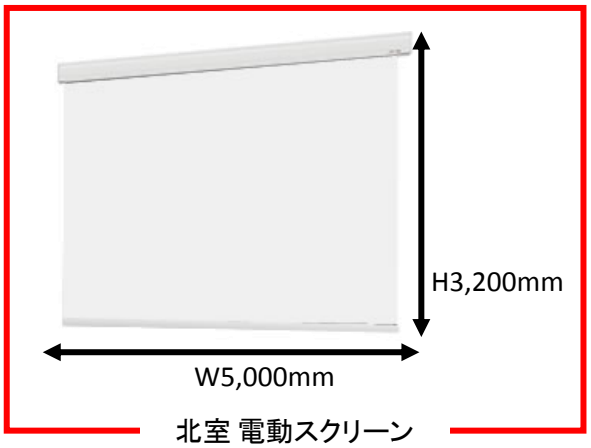
■映像機器の概要について



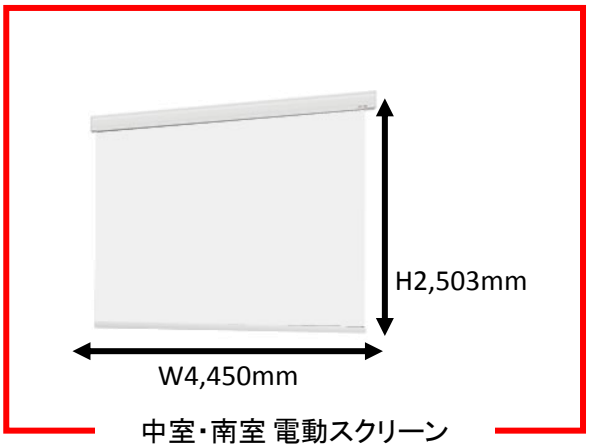
◆会場スクリーン：オールホワイト電動スクリーン

		北室	中室	南室
1	スクリーンサイズ	W5000×H3200mm	W4450×H2503mm	W4450×H2503mm
2	最大投映サイズ(16:9)	W5000×H2813mm 225ｲﾝﾁ	W4450×H2503mm 201ｲﾝﾁ	W4450×H2503mm 201ｲﾝﾁ
3	最少投映サイズ(16:9)	W3556×H2000mm 160ｲﾝﾁ		W3271×H1840mm 147ｲﾝﾁ
4	推奨投映サイズ(16:9) ※セミナー等	W5000×H2813mm 225ｲﾝﾁ	W3556×H2000mm 160ｲﾝﾁ	W3982×H2240mm 179ｲﾝﾁ
5	推奨投映サイズ(16:9) ※セミナー等 北室 ひな壇以外にもイス設置時	W4356×H2450mm 196ｲﾝﾁ		

※2，3 最大投映サイズ、最少投映サイズはリモコンにてズーム調整にて行ってください
※4 推奨投映サイズとは、ＦＬからスクリーン下端をH1300mmまでにした時のサイズです
※5 北室のひな壇客席の前方に補助いすなどを使用する場合の推奨投映サイズです



北室 電動スクリーン



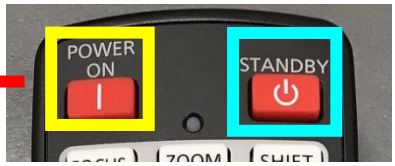
中室・南室 電動スクリーン

スクリーン昇降操作ボタン

・スクリーンの昇降について：
フリーストップとなっているため、『止』ボタンを押すことで、
お好きなスクリーンサイズに設定可能です

■プロジェクター 電源操作 (ホール北室、南室共通)

赤外線リモコン



・電源ONについて:
赤外線リモコンをプロジェクターに向けて『**POWER ON**』を押します

・プロジェクター電源がONになると
緑のランプが3つ点灯します

※電源ON状態

・電源OFFについて:
プロジェクターに向けて『**STANDBY**』を**2回**押します

・『STANDBY』を1回押すと、「電源オフ確認画面」が表示されますので、
再度『STANDBY』を押してください

緑点灯→橙点灯→ (クーリング完了後)赤点灯と変わります ⇒ 電源OFF

※電源OFF状態

・プロジェクターへの映像信号入力について:
プロジェクターが電源ONの状態になってから、パソコンなど映像機器を
映像信号コネクタパネルへ接続してください

※クーリングについて:
プロジェクターの電源をOFFにしても、プロジェクター冷却ファンが回っています
クーリング中 ⇒ 橙点灯　クーリング完了後→赤点灯

■プロジェクター 入力切替操作

赤外線リモコン

赤外線リモコンをプロジェクターに向けて操作してください

『INPUT SELECT』の各映像信号のボタンを押して
入力切替をしてください

◆映像コネクタパネル ― リモコンボタン表記対応表

・HDMI①入力

コネクタパネル

リモコン表記

・HDMI②入力
(DVI-D)

コネクタパネル

リモコン表記

・D-sub①、②入力

コネクタパネル

※D-sub①、②の切替は
『RGB1/2』ボタンを押してください

リモコン表記

・SDI入力

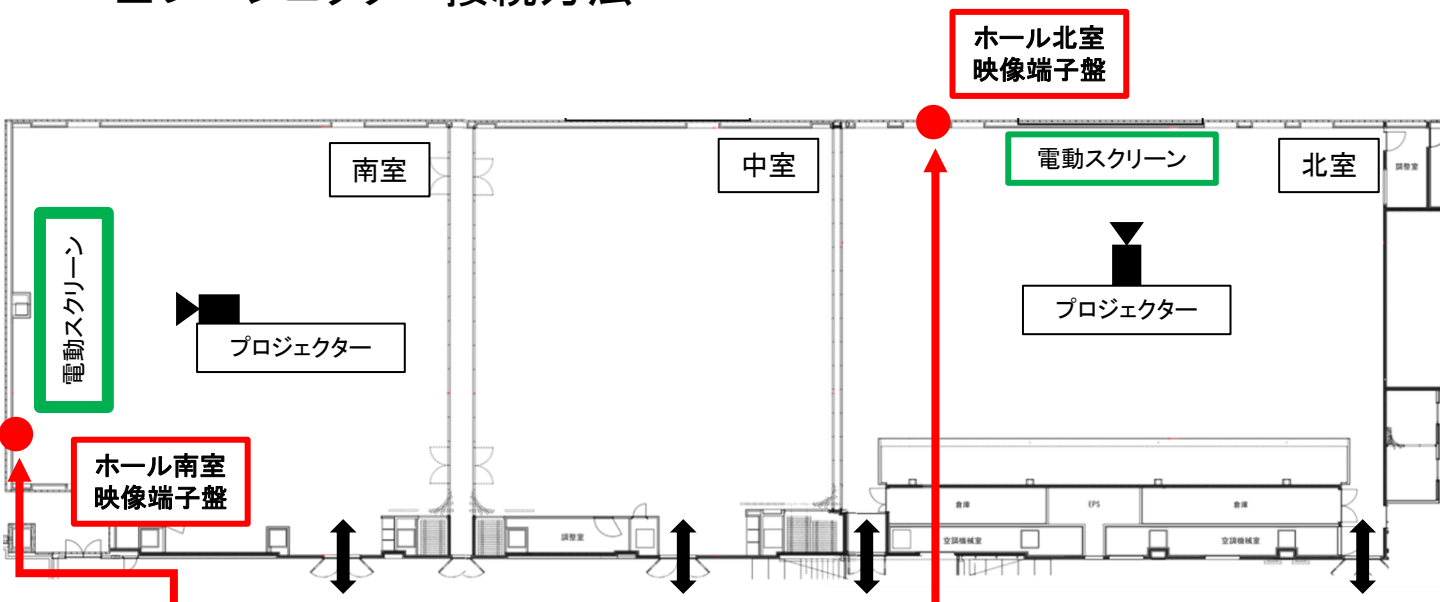
コネクタパネル

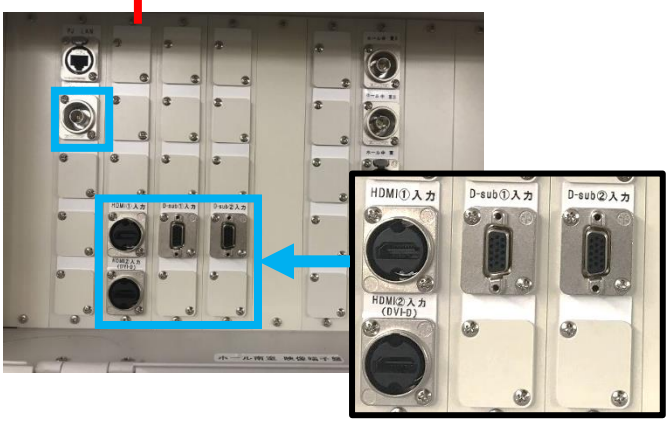
リモコン表記

・映像のシャッター機能について:

『SHUTTER』を押すと映像を一時的に消す(黒にする)ことが可能です
もう一度『SHUTTER』を押すと映像が投影されます

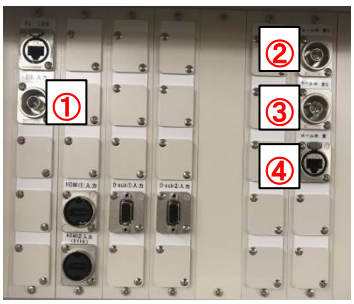
■プロジェクター接続方法





・以下の端子が入力可能となっております

- ・HDMI①入力
- ・HDMI②(DVI-D)入力
- ・D-sub①入力
- ・D-sub②入力
- ・SDI入力(HD-SDI)



・以下の端子も入力可能となっております

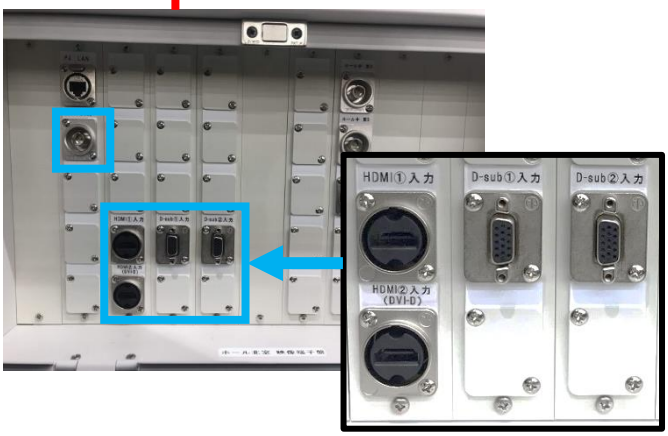
①:LAN(CAT6STP) → プロジェクター接続済

②:中継ライン(HD-SDI端子)

③:中継ライン(HD-SDI端子)　各室との中継用

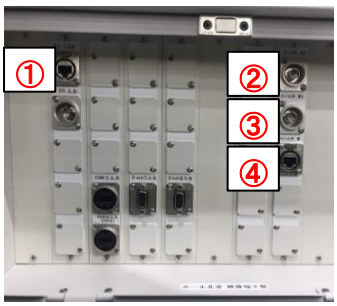
④:LAN(CAT6STP) → 中室 東コネクタパネルと接続済

※④:LANは各室とのローカルネットワーク用の為
インターネットにはつながっておりません



・以下の端子が入力可能となっております

- ・HDMI①入力
- ・HDMI②(DVI-D)入力
- ・D-sub①入力
- ・D-sub②入力
- ・SDI入力(HD-SDI)



・以下の端子も入力可能となっております

①:LAN(CAT6STP) → プロジェクター接続済

②:中継ライン(HD-SDI端子)

③:中継ライン(HD-SDI端子)　各室との中継用

④:LAN(CAT6STP) → 中室 東コネクタパネルと接続済

※④:LANは各室とのローカルネットワーク用の為
インターネットにはつながっておりません

■プロジェクター映像サイズの調整方法

・以下の操作にて映像サイズの調整をおこなってください

◆映像のピント調整(フォーカス調整)

①・FOCUSボタンを押す:
② ⇒▲▼◂▸ボタンで調整します

※▲▼◂▸ボタン長押しで素早く動作させることができます

◆映像サイズの縮小・拡大(ズーム調整)

①・ZOOMボタンを押す:
② ⇒▲▼◂▸ボタンで調整します

※▲▼◂▸ボタン長押しで素早く動作させることができます

◆画面のシフト調整

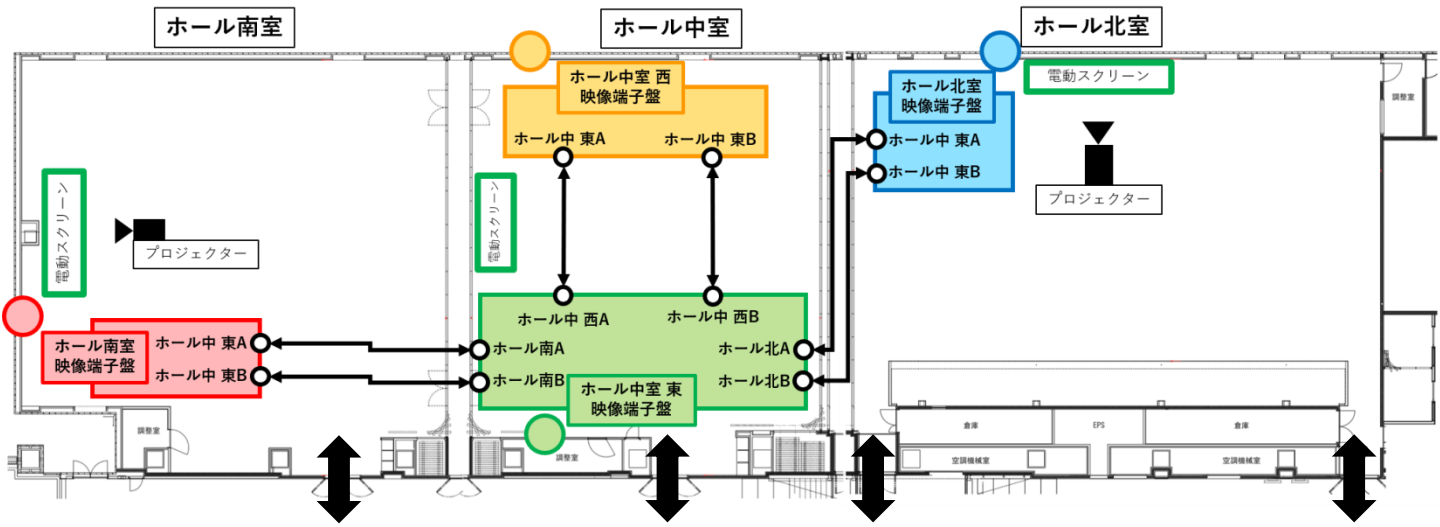
①・SHIFTボタンを押す:
② ⇒▲▼◂▸ボタンで調整します

※▲▼◂▸ボタン長押しで素早く動作させることができます

■各室間の映像中継について

・各会場、他会場からの映像を送受信することができます

・各会場の映像端子盤に中継ライン端子(HD-SDI)を設置しております

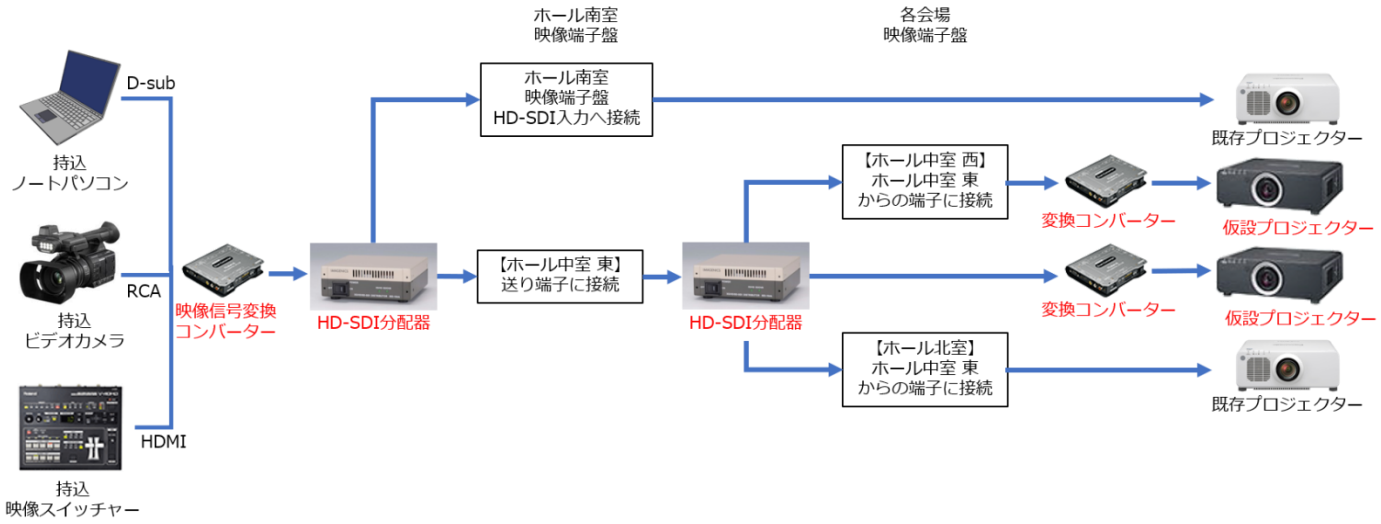


・各室間の映像ケーブル(5CFB)のみ配線されています

例) ホール南室の映像を他会場に中継する場合

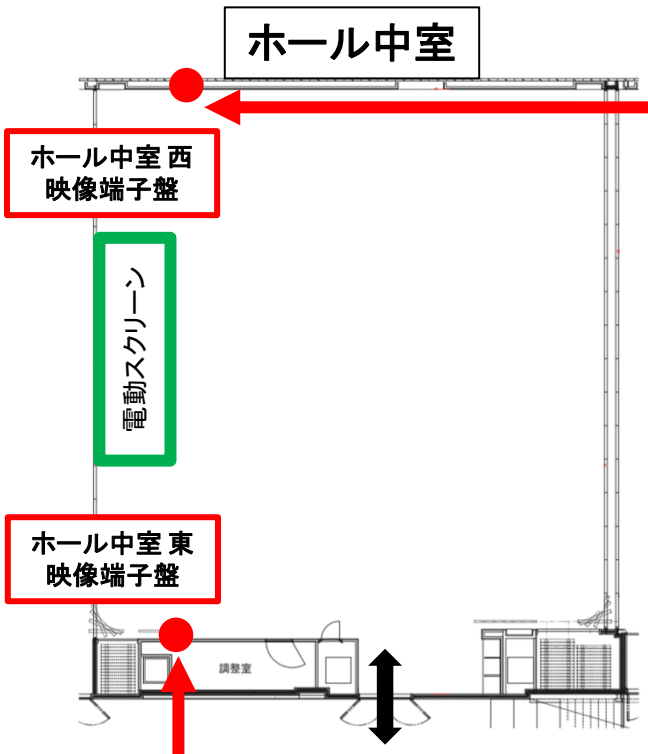
各映像接続パネル間の映像ケーブルのみ配線されています

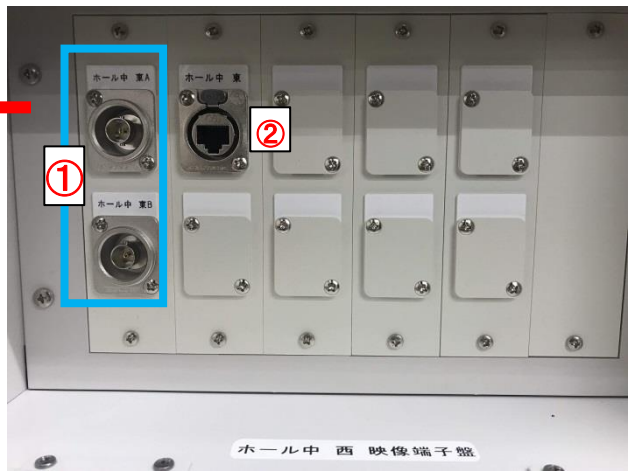
※**赤字**の機材は会場備品にはありません



・各種コンバーター、分配器、ケーブルは別途必要となります
(会場備品にはありません)

■各室 中継ラインの接続端子(HD-SDI / LAN)について





◆ホール中室 西　映像端子盤:

・他会場から映像を送受信する際に
　中継ライン端子から映像機器へ接続

①中継ライン端子(HD-SDI) ×2口

・以下の端子も他会場と配線されています

②LAN (CAT6STP) × 1口

◆ホール中室 東　映像端子盤:

・他会場から映像を送受信する際に
　中継ライン端子を使用します

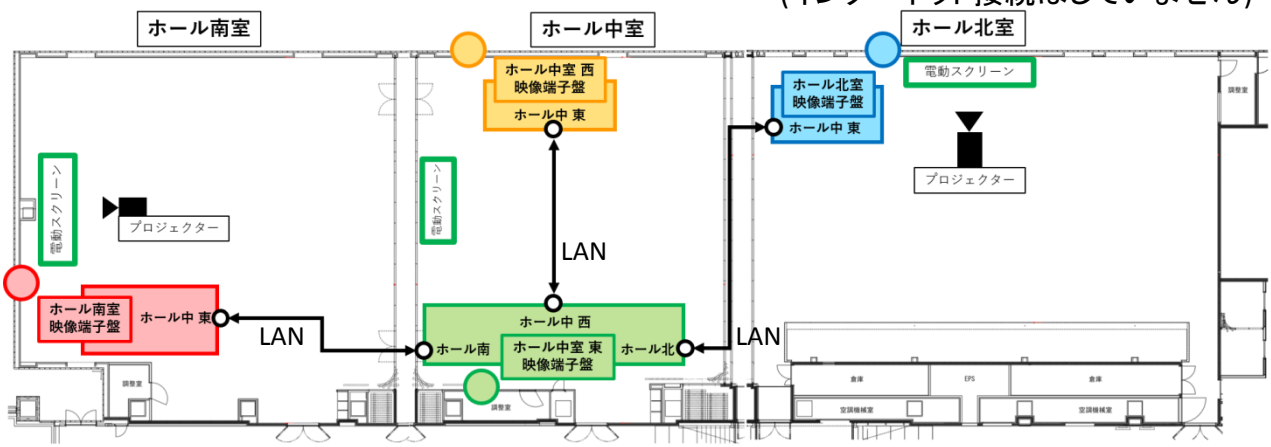
③中継ライン端子(HD-SDI) ×6口

・以下の端子も他会場と配線されています

④LAN (CAT6STP) × 3口

・会場LAN(CAT6STP)接続図:各室とのローカルネットワーク用

(インターネット接続はしていません)



～音響編～

主催者様に操作して頂く事（マニュアル参照）		音響機器（有線マイク含む）接続や、音量の操作などの一切は主催者様に操作頂きます
※利用者が音響業者を呼んでも構わない		当ホールには、音響技術者が常駐していませんので必要に 応じて専門業者等を主催者様にて手配ください
P14	本番中の音量ボリューム操作	一次指定業者にレクチャーを受けて頂き、受付用放送ワゴンや ワイヤレスマイクの音量操作をして頂きます
〃	有線マイクの接続	有線マイクをご利用の場合は、マニュアルを参照して頂き所定の コネクタパネルへの接続をしてください
〃	ＰＣ音声の接続	ＰＣの音声をスピーカより出したい場合は、事前にマニュアルを 確認頂き必要備品の貸出を受けて下さい
P15	その他持込音響機器との接続	持込機器（再生、録音）を接続したい場合、事前にマニュアル 参照頂き必要備品の貸出を受けて下さい

■会場概要について

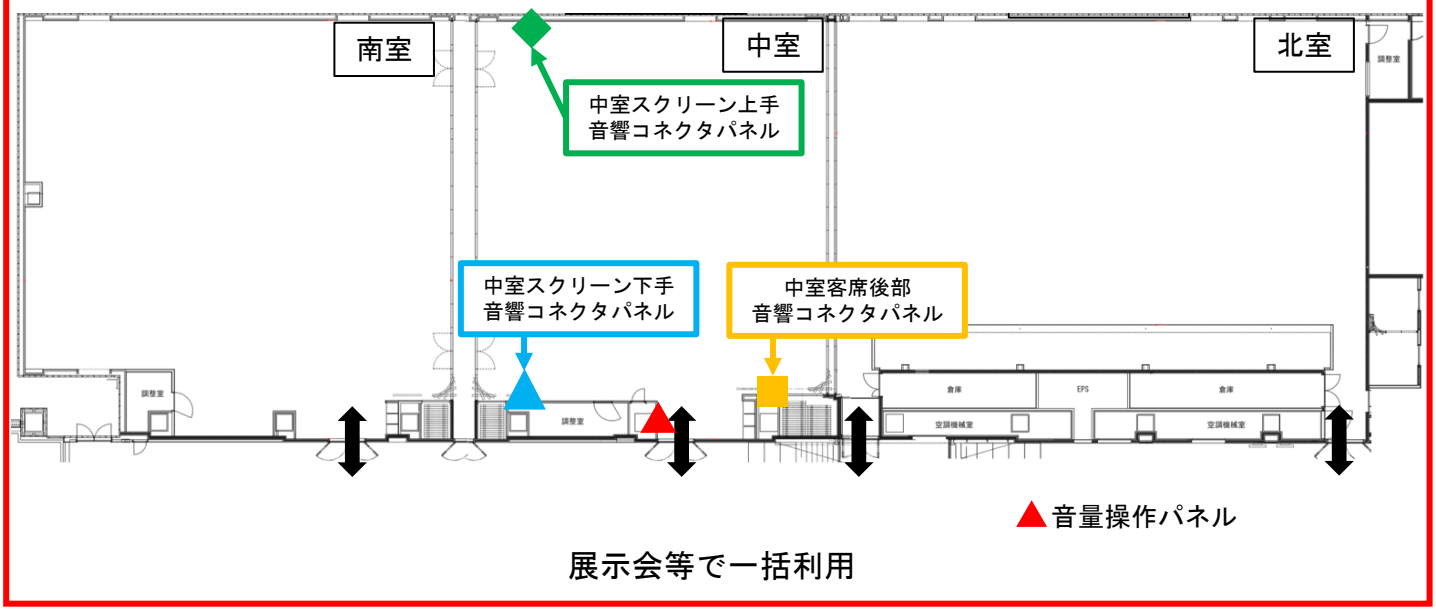
★下記、会場レイアウトを展示会等にて一括利用する場合：
・音響機器の入力は**中室の3箇所**に接続してください

◆『中室スクリーン上手 音響コネクタパネル』

▲『中室スクリーン下手 音響コネクタパネル』

■『中室客席後部 音響コネクタパネル』

※北室、南室の音響コネクタパネルや音量操作パネルは反応しません



展示会等で一括利用

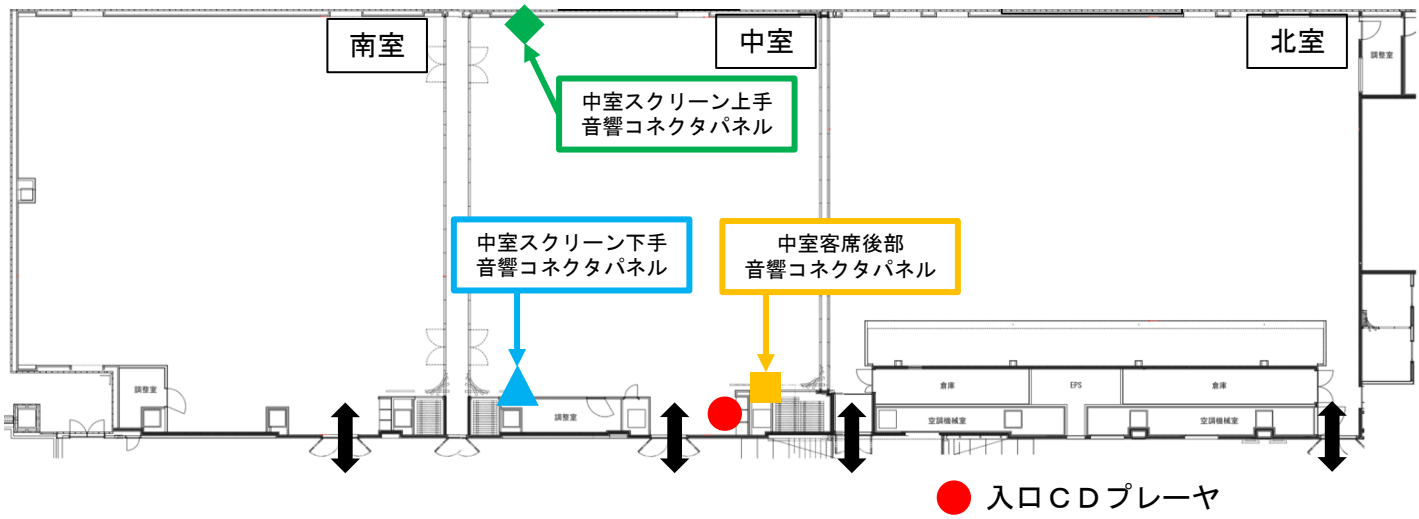
◆マイク使用可能本数

ワイヤレスハンドマイク	4本(3本※)
ピンマイク※	1台
有線マイク	4本

※**ピンマイク使用時**、ワイヤレスハンドマイク**使用可能本数は3本まで**となります

※**有線マイク**接続の詳細は、P.14を参照してください

■音響機器の概要について



■会場機材一覧

・マイク

・1.2GHz　ワイヤレスハンドマイク×４本(南室①②中室③④)
※ピンマイク使用時は、ハンドマイク×３本迄になります(受信機兼用の為)

・1.2GHz　ワイヤレスピンマイク×1台(中室④)

・有線マイク×4本
※使用時に中室スクリーン上手下手各コネクタパネルに接続して利用(各2本)

・入口ＣＤプレーヤ

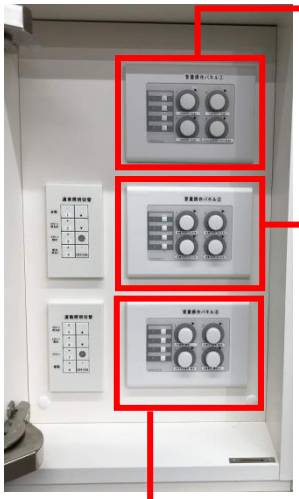
・会場入口にBGM用のＣＤプレーヤが設置されています
音量操作もこちらにあります

ＣＤ音量操作ツマミ

音響装置をお申込みの無い場合は、使用できません
リピートなどの操作についてはＰ４７ページを参照ください

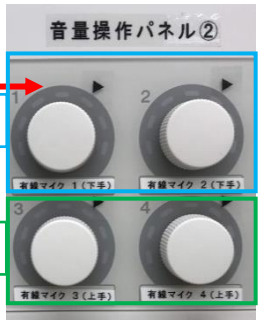
■会場 音量調整について

音量操作パネル①(ワイヤレスマイク)



ワイヤレスマイク保管場所：
・会場調整室内に設置
・ハンドマイクのスイッチを
ONにすると使用可能です

音量操作パネル②(有線マイク)



有線マイクの接続方法：
・▲、◆のコネクタパネルに
有線マイクをマイクケーブルにて
接続してください

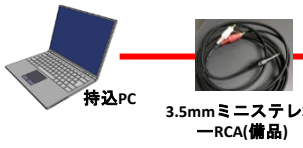
・ボリュームを回して、▲印まで
音量を上げる必要があります

A 中室スクリーン下手
音響コネクタパネル
有線マイク①②に接続 ▲

D 中室スクリーン上手
音響コネクタパネル
有線マイク③④に接続 ◆

音量操作パネル③

『PC音声再生』の接続方法：PCからの音声を会場音響に接続する場合



B 中室スクリーン下手
音響コネクタパネル ▲

『外部音声 出力1』からの接続方法：ICレコーダーなどで収録したい場合

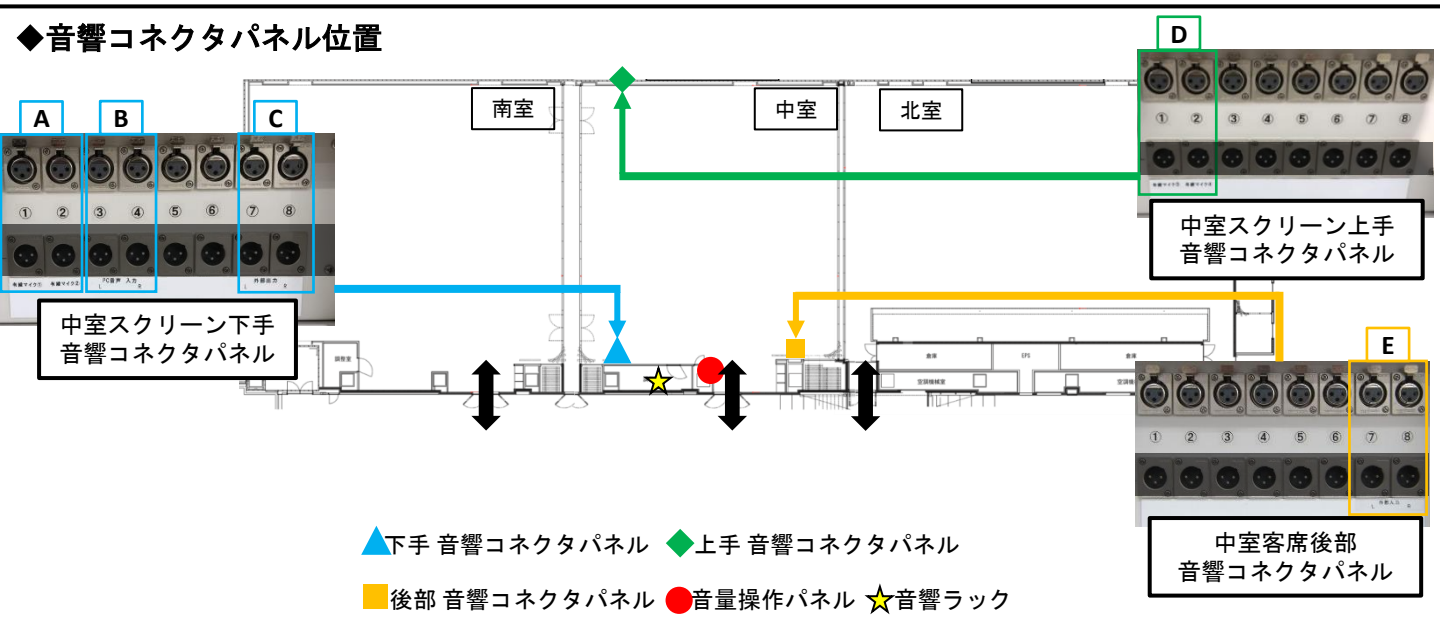
C 中室スクリーン下手
音響コネクタパネル

**ICレコーダーなど
持込収録機器** ▲

『CDデッキ音声 再生』⇒CDデッキは音響ラックに設置　ボリュームを回して音量を上げてください

『外部入力音声 再生』⇒ ■ のコネクタパネル **E** に接続してください

◆音響コネクタパネル位置



▲下手 音響コネクタパネル　◆上手 音響コネクタパネル

■後部 音響コネクタパネル　●音量操作パネル　☆音響ラック

■音響機器接続方法

◆PC音声について ※音量操作パネルにて音量を上げないと音が出ません

中室スクリーン下手
音響コネクタパネル

・PCからの音声を入力する場合、会場備品 ダイレクトボックス、
2対マイクケーブルを使って北室スクリーン下手コネクタパネルと接続

※PC側は3.5mmミニステレオで接続

持込PC

3.5mmミニステレオ
ーRCA(備品)

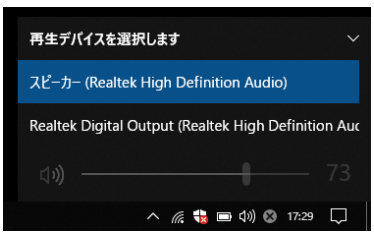
ダイレクト
ボックス(備品)

2対マイクケーブル
(備品)

中室スクリーン下手
音響コネクタパネル
PC音声 入力

・**PCからの音が出ない場合**：
HDMI接続時にイヤホンジャックから音が出ない場合があります
①イヤホンジャックからケーブルを抜いて本体から音が出ているか？ご確認ください
※ケーブルを抜いてもPCから音が出ていない場合、②を参照してください
②PC本体再生デバイス設定をご確認ください(〇外部接続 なのか ×HDMI内臓)

PC本体設定確認 例 (Windowsの場合)



・PC画面の🔊をクリックし、再生デバイスを確認
・再生デバイス選択が
『スピーカー(Realtek High Definition Audio)』
に設定されているかご確認ください
※違うデバイスが選択されていると
イヤホンジャックから音が出ません

PC本体設定確認 例 (Macの場合)

・『システム環境設定』の『サウンド』を確認
・サウンドを出力する装置選択が
『内臓スピーカー　種類：内臓』
に設定されているかご確認ください
※違うデバイスが選択されていると
イヤホンジャックから音が出ません

◆外部音声入力・出力について ※入出力とも音量調整操作パネルにて音量を上げないと音が出ません

中室客席後部
音響コネクタパネル

・外部入力について：
iphoneなどを接続したい場合、音声再生機器からコネクタパネルへ
上記のPC音声の接続方法と同様に接続してください(備品にはRCA-RCAもあります)

・外部出力について：
ICレコーダーやビデオ収録をする場合、コネクタパネルから
下記の要領にて収録機器に接続してください

※**調整室内にも+4dB(固定)出力端子が別途あります**

中室スクリーン下手
音響コネクタパネル

中室スクリーン下手
音響コネクタパネル
外部出力

2対マイクケーブル
(備品)

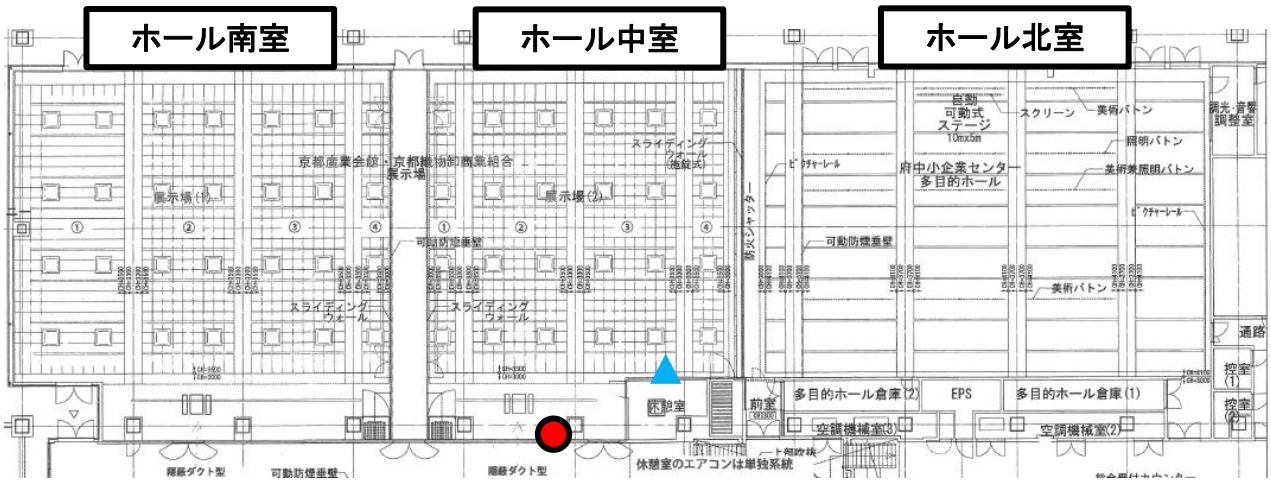
ダイレクト
ボックス(備品)

3.5mmミニステレオ
ーRCA(備品)

ICレコーダーなど
持込収録機器

■受付用放送ワゴンの使用方法

・ホワイエ、会場内 接続場所について



▲会場内：中室客席後部音響コネクタパネル　● ホワイエ：受付音響盤

◆ホワイエにワゴンを設置する場合

・受付用放送ワゴンとホワイエの『受付音響』盤コネクタとを接続してください
⇒ 接続ケーブルは受付用放送ワゴンに付属しています

※受付音響コネクタ横に電源コンセントがありますので、
受付用放送ワゴンの電源も接続してください

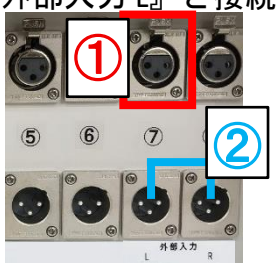
受付用放送ワゴンと接続

ホワイエ受付音響盤コネクタ

◆会場内にワゴンを設置する場合

・受付用放送ワゴンを**中室客席後部音響コネクタパネル**
『外部入力L』を接続してください
⇒ 接続ケーブルは受付用放送ワゴンに付属しています

『外部入力L』と接続



中室客席後部
音響コネクタパネル

※吊りスピーカ使用の場合、②『外部入力L(オス端子)』から『外部入力R(オス端子)』へ接続することで、
左右のスピーカーから音が出ます(接続ケーブルは調整室内にあります)

受付用放送ワゴン

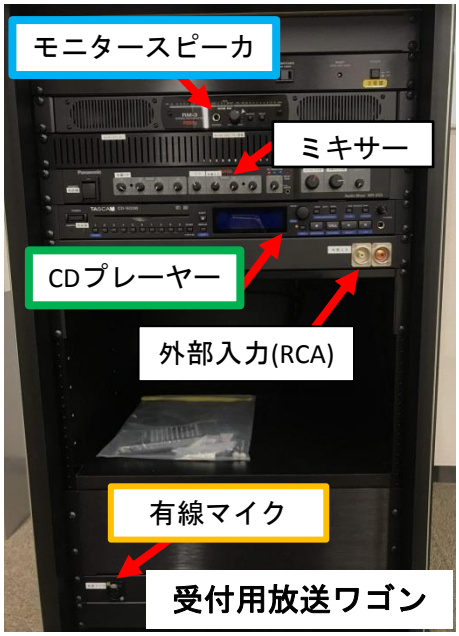
受付用放送ワゴン 背面

・受付用放送ワゴンの上部にある『**主電源**』
スイッチを押し込みONにしてください

※電源の立ち上がりには約30秒程時間がかかります

■受付用放送ワゴンの使用方法

◆有線マイク、CDプレーヤーの使用方法



・有線マイクの接続について

・『有線マイク』端子に
備品マイクケーブルを使って接続

※有線マイクボリューム：
ミキサー『**有線マイク**』と『**有線マイク主音量**』
両方のボリュームを上げていないと音が出ません

・CDプレーヤーの接続について

・再生するCDを入れ、 ボタンを押して再生

※CDプレーヤーボリューム：
ミキサー『**CD**』と『BGM**主音量**』両方のボリュームを
上げていないと音が出ません

※BGMを流しながら有線マイクで話すとBGMの音量が自動で下がります
話し終わると音量は元に戻ります

・外部機器入力について

・備品の『3.5mmミニステレオ―RCAケーブル』や
『RCA-RCAケーブル』　を使用して
外部入力端子に入力してください

外部入力端子

・3.5mmミニステレオ―RCAケーブル
・RCA―RCAケーブル

※外部機器入力ボリューム：
ミキサー『外部入力』と『BGM**主音量**』両方のボリュームを
上げていないと音が出ません

・ワゴン内モニタースピーカの使い方

※ワゴン内モニタースピーカからも会場内音声を確認することができます

・『AN』が**橙点灯**：モニタースピーカから音声が聞こえます
緑点滅：モニタースピーカから音声が聞こえません

・モニタースピーカから音声が聞こえない場合

・『INPUT』ボタンを押して、『AN』を**橙点灯**させてください
※OUTPUTのシグナルは関係ありません

■入口ＣＤプレーヤー、受付用放送ワゴンCDプレーヤーについ

◆オールリピート再生(CDディスク全てのリピート)の設定方法

・オールリピート設定完了画面

この画面が表示されていれば操作は不要です

・リピート機能が『ON』になっていると
ホーム画面に『REPEAT』が表示されます

・オールリピート設定ができていない場合、以下の手順にて操作してください

①『SHIFT』ボタンを押し、
▶『REPEAT』ボタンを押します
⇒ リピート設定完了

②左図のようにホーム画面に
『REPEAT』と表示されていれば設定完了です

■貸出備品一覧

・ 以下の備品が貸出可能となっております
備品貸出ご希望の際は、ホールスタッフへご確認ください

映像貸出備品	
・D-subミニ15ピンケーブル	5m (2本まで)
・D-subミニ15ピンケーブル	10m (2本まで)
・HDM Iケーブル	5m (2本まで)
・HDM Iケーブル	10m (2本まで)

音響貸出備品
・有線マイク(4本まで)
・無線ハンドマイク(4本まで)
・無線ピンマイク(1台のみ)
・マイクケーブル　5m (3本まで)
・マイクケーブル 10m (5本まで)
・床上マイクスタンド(8本まで)
・卓上マイクスタンド(8本まで)
・パソコン音声接続ケーブルセット※3.5㎜イヤホンジャック出力用
・上記用2対マイクケーブル20m (1本のみ)
・上記用2対マイクケーブル10m (1本のみ)

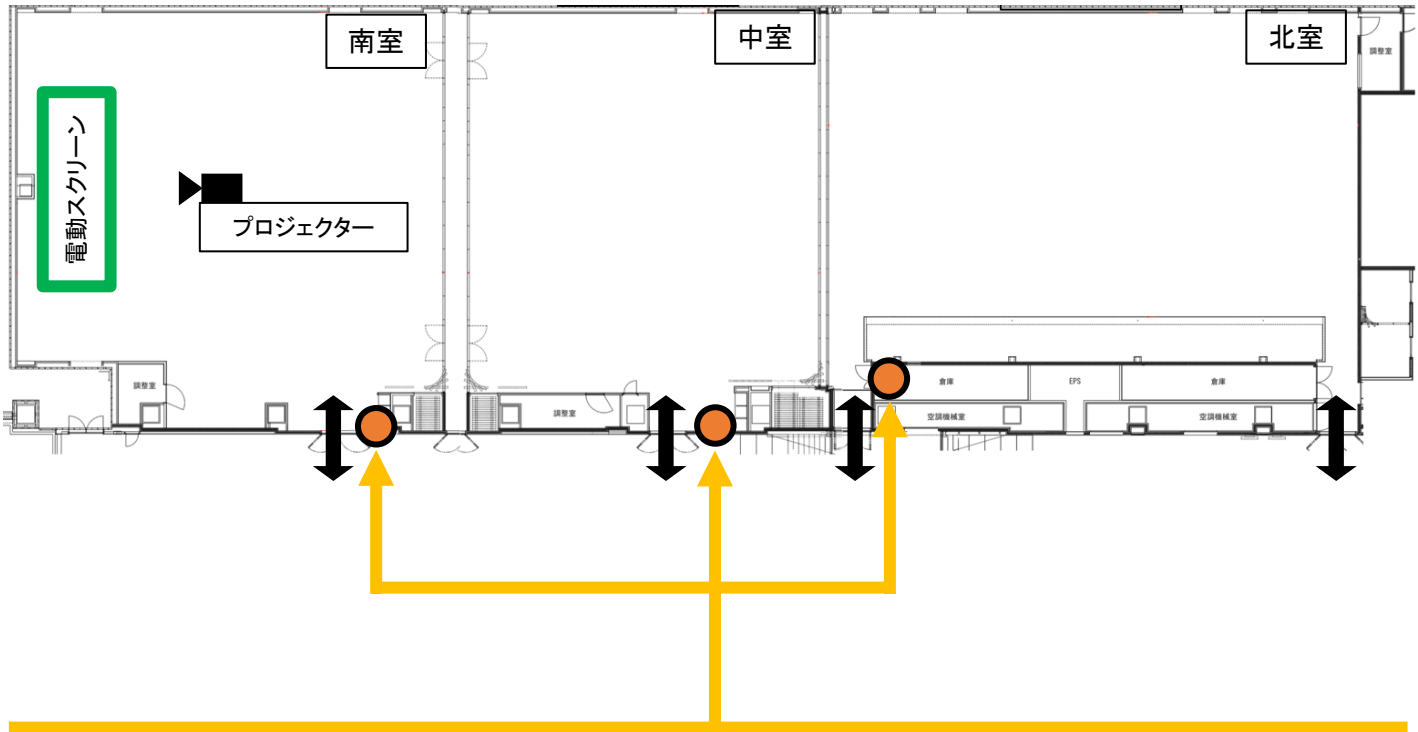
・パソコン音声接続ケーブルセット

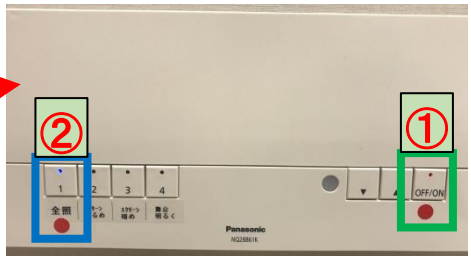
・ダイレクトボックス × 2台
・3.5㎜ミニステレオーRCA × 2本
・RCA－RCA × 2本

～照明編～

主催者様に操作して頂く事（マニュアル参照）		会場の照明（FL、ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ等）の操作の一切は主催者様に操作頂きます
P22	会場照明のON、OFF操作（会期中）	一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて頂き、会期中の照明のON/OFFをしてください
P23	FLコントローラーの操作	一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて頂き、照明の操作をしてください
P26	スポットライト調光、DL調光　操作	一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて頂き、照明の操作をしてください
P27	会場照明の操作	必要があれば一次指定業者より、操作方法のレクチャーを受けて頂き、照明の操作をしてください

■会場照明のスイッチについて





FLコントローラー親機

・DL一括：
→ ダウンライト

・間接一括：
→ 間接照明

③ DL・間接照明スイッチ

～ 照明点灯手順 ～

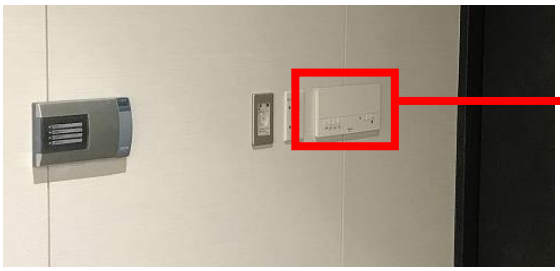
①FLコントローラーの『**電源OFF/ON**』を押します(赤丸シール)
⇒ 緑ランプ：電源OFF　赤ランプ：電源ON

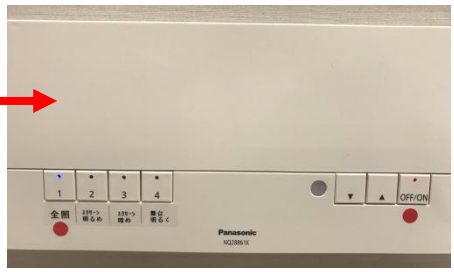
②FLコントローラーの『**照明シーン1(全照)**』(赤丸シール)
⇒ 青ランプ：選択照明シーン表示

③DL・間接照明スイッチの『**DL一括**』『**間接一括**』を押します(赤丸シール)
⇒ 緑ランプ：消灯　赤ランプ：点灯

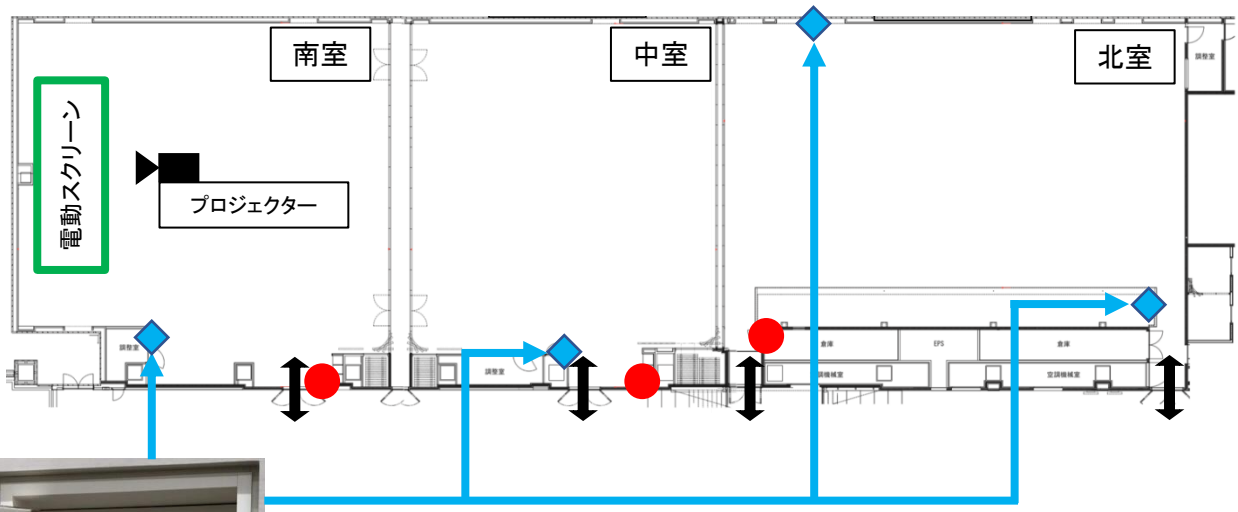
■FLコントローラーの親機と子機について

◆FLコントローラー 親機





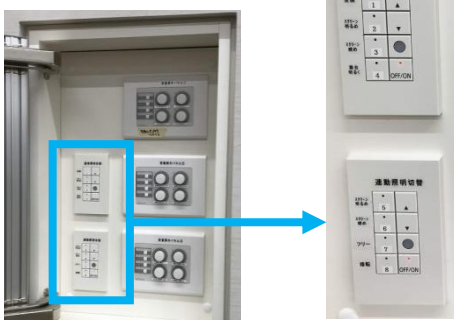
※会場照明のつけ方についてはP.22を参照してください



● FLコントローラー **親機**　◆ FLコントローラー **子機**

※北室には、FLコントローラー子機が2箇所にあります

◆FLコントローラー 子機



※照明シーン1～8が設定されています

※照明シーン7は照明シーンのメモリーが可能
⇒ メモリーにつきましては、
一次指定業者にご確認ください

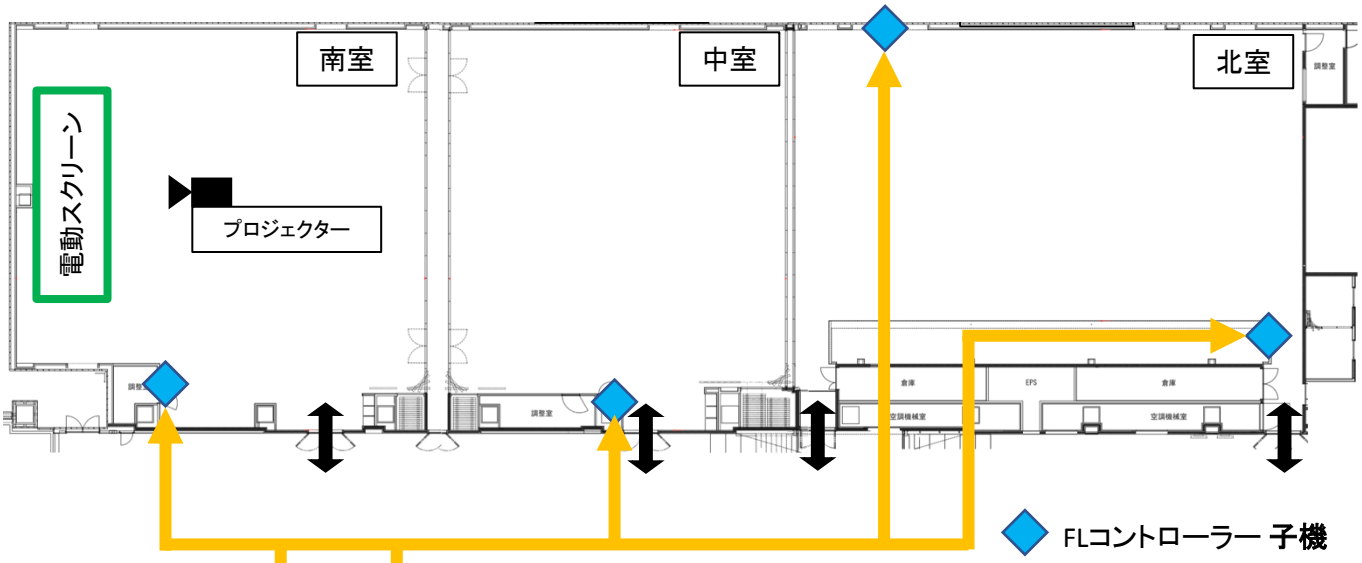
※すべてのFLコントローラーの親機と子機は連動します

■会場一括利用時の照明シーン(連動照明切替)

・会場の一括利用時にFLコントローラーを連動させることができます

・照明連動スイッチは『**中室調整室内壁面**』に設置してありますので
FLコントローラーが連動しない場合は管理者に確認してください

・以下、会場レイアウトにて使用する場合



FLコントローラー子機

・照明シーン1：全照
中室、南室FL全点灯

南室のスクリーンを使用した場合

・照明シーン5：スクリーン明るめ
南室スクリーン付近が消灯し、
客席側(南室の半分、中室)が明るめ

・照明シーン6：スクリーン暗め
南室スクリーン付近が消灯し、
客席側(南室の半分、中室)が暗め

・照明シーン7：フリー
⇒ 照明シーンメモリー可能
※メモリーにつきましては、一次指定業者に
ご確認ください

・照明シーン8：暗転
中室、南室FL全消灯

※各会場 どのFLコントローラー子機を
操作しても照明シーンを呼び出すことが可能です

■会場一括利用時の照明シーン(連動照明切替)

・FLコントローラーにて操作できるのは『**会場FL**』のみです

※DL(ダウンライト)・間接照明は別スイッチにてON/OFF操作する必要があります

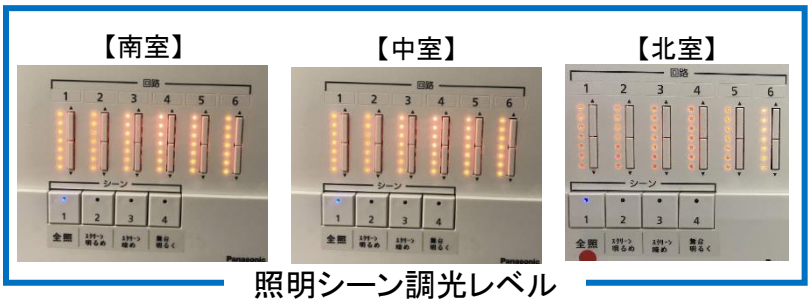
◆照明シーンについて

・会場の一括利用時にFlコントローラーを連動させることができます

・シーン5～8が主に会場一括利用時の照明シーンになります

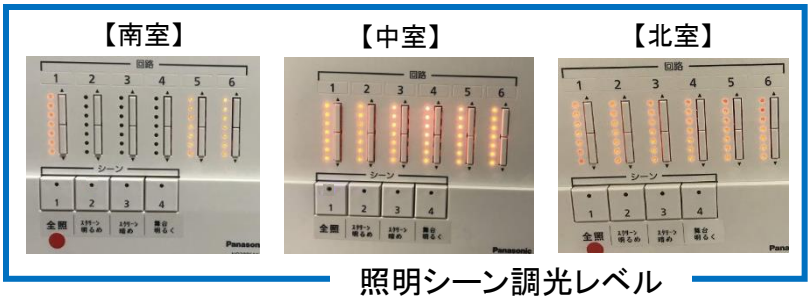
・照明シーン1:全照

⇒ 中室、南室全てのFL100%点灯



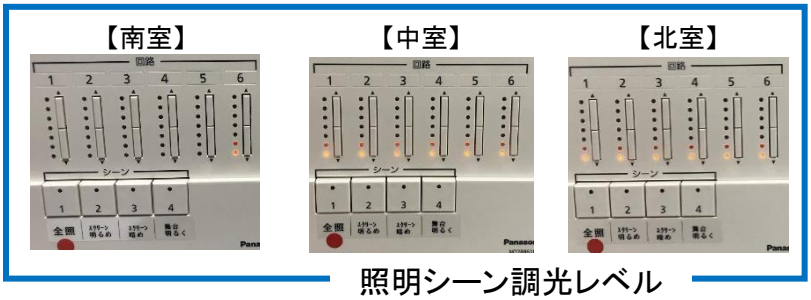
・照明シーン5:スクリーン明るめ

⇒ 南室スクリーン付近が消灯
南室の半分、中室、北室が明るめ



・照明シーン6:スクリーン暗め

⇒ 南室スクリーン付近が消灯
南室の半分、中室、北室が暗め

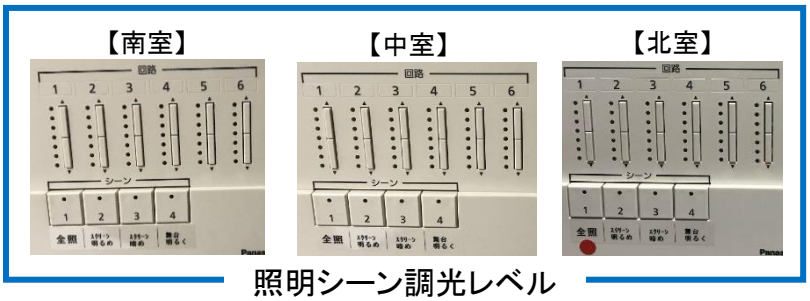


・照明シーン7:フリー

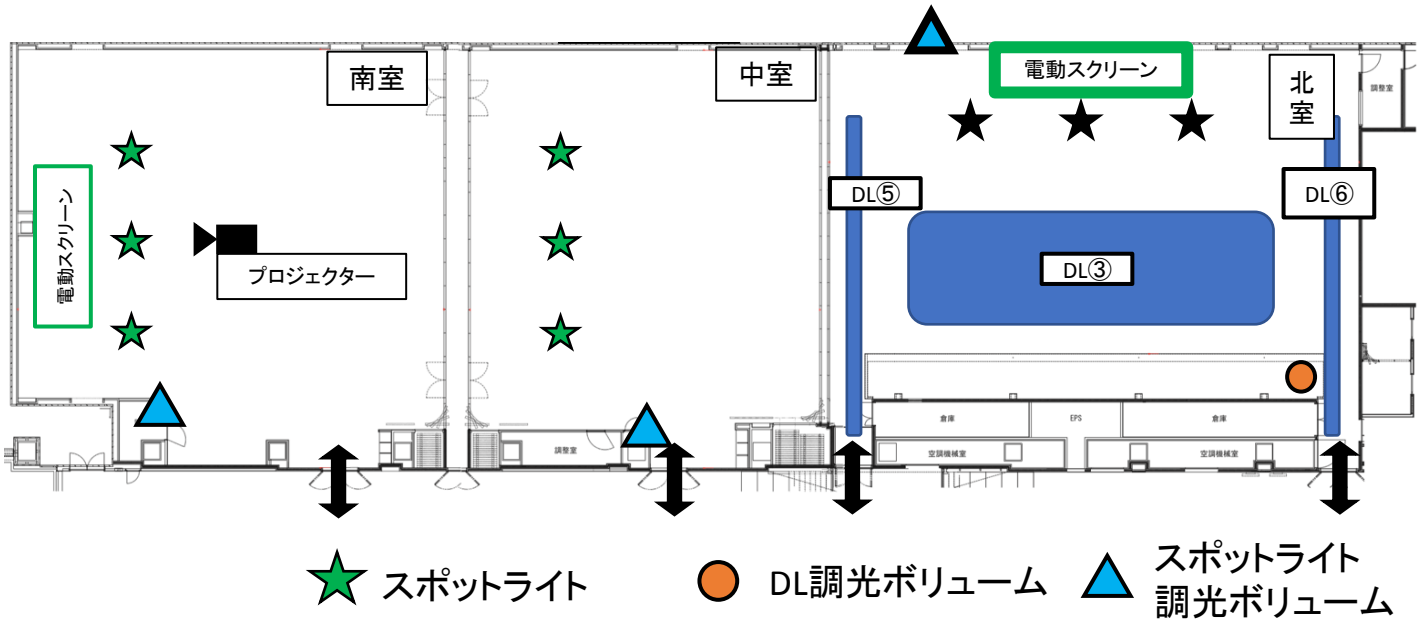
⇒ 照明シーン メモリー可能
※メモリーにつきましては、
一次指定業者にご確認ください

・照明シーン8:暗転

⇒ 北室、中室、南室 FL全消灯



■調光ボリュームについて



◆DL(ダウンライト)調光ボリュームについて:

・DL③、⑤、⑥のみ調光可能となっています

・赤枠内がスイッチ電源ON/OFFです

緑ランプ:OFF　無点灯:ON

※無点灯がスイッチONとなります

・ボリュームにて明るさが可変します
必要に応じて、調整してください
※**ボリュームを絞り切っても消灯はしません**

◆スポットライト調光ボリュームについて:

・スポットライト上手、中央、下手の調光が可能です

・赤枠内がスイッチ電源ON/OFFです

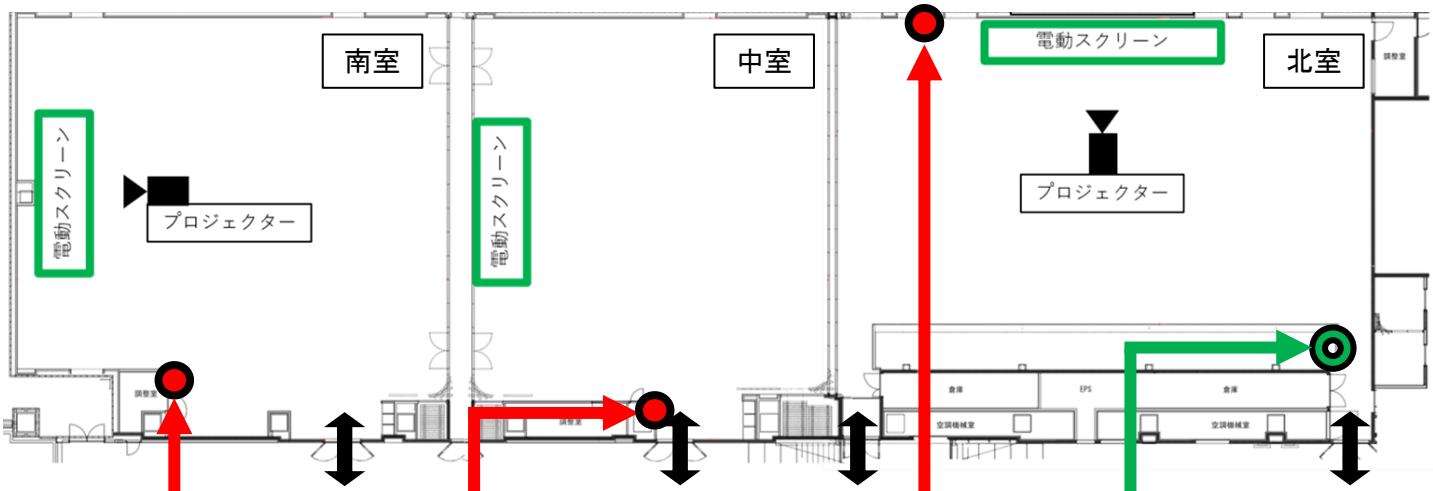
緑ランプ:OFF　無点灯:ON

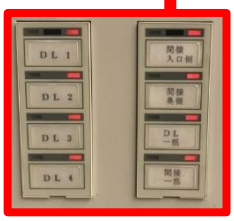
・ボリュームにて明るさが可変します
必要に応じて、ボリュームをあげてください

※スポットライトの吊り位置の移動は不可です

写真は
中央スポットライト

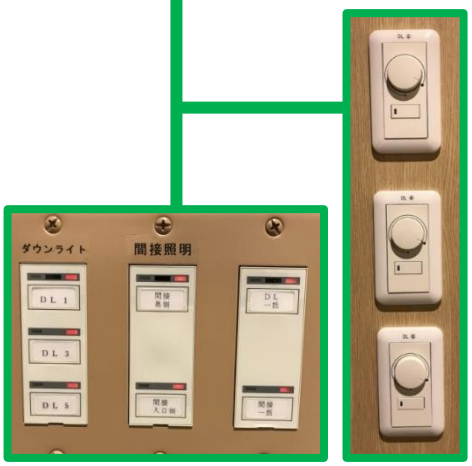
■会場照明(DL・間接照明)について




南室ダウンライト

中室ダウンライト

北室ダウンライトA



北室ダウンライトB

・各DL、間接照明ボタンを押すと、対応した照明が点灯・消灯します
緑ランプ：消灯　赤ランプ：点灯

※北室のみ、照明スイッチが2箇所にあります
2箇所の照明スイッチは連動しています

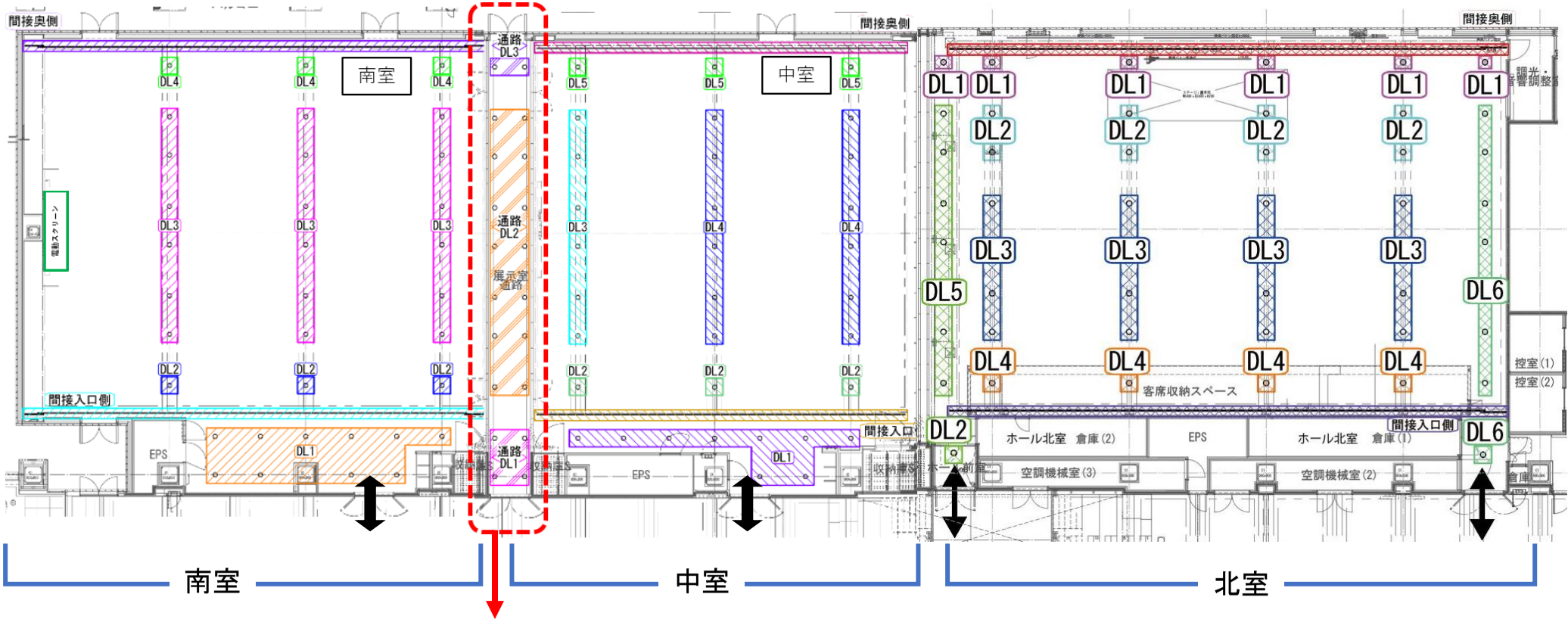
・DL(ダウンライト)と間接照明は
個別にON/OFFすることができます

・DL⑤、③、⑥は調光可能です

・北室ダウンライトA、Bは連動しています

◆DL・間接照明ボタンの対応図は、**P.28**を参照してください

◆DL・間接照明ボタン対応図面



※赤枠内ダウンライトについては産業会館スタッフへ確認してください